

立命館大学 生命科学部

Activities

学生生活を充実させる

Career

先輩たちの ストーリー

Laboratory

- Department of Applied Chemistry
- Department of Biotechnology
- Department of Bioinformatics
- Department of Biomedical Sciences

Class

2025

ご挨拶

「学生生活を充実させる先輩たちのストーリー」の作成に寄せて

皆さんは、大学生活を通して自らのキャリア（将来の就職・就業や人生のライフプラン）を描いていくことになります。

大学4年間の過ごし方や将来についてビジョンを持っている方もいますが、どのように過ごすか迷われている方もいると思います。また、何かやりたいけれどどのように具体的に取組めばいいかイメージが沸かない方も多いと思います。

本冊子は、立命館大学の生命科学部・生命科学研究科の先輩方が取り組んだ正課・正課外の活動、身についた力や関連するエピソード、キャリア選択に影響を与えた経験・きっかけを紹介しています。本冊子作成時の学部・大学院の在学中の先輩から学部の卒業生と修士・博士の修了生の社会人の先輩まで幅広い活動内容とエピソードになります。また、相談できる部署などを掲載したガイドの機能も併せ持っています。

先輩方の経験を参考に、「挑戦をもっと自由に～Challenge your mind Change our future～」するために、様々なことにチャレンジし自らのキャリアを描いていってください。本冊子が皆さんの学生生活を充実させるための一助となることを期待しております。なお、本冊子作成時点では16名の先輩方を掲載していますが、将来的には掲載する先輩方を増やしていくことを予定しています。

立命館大学 生命科学部 企画研究・進路就職担当 副学部長
花崎 知則



CONTENTS

No.	学科・コース・専攻	タイトル	研究室で身についた力	ページ
01	生命医科学科・B4 プロテオミクス研究室	自分にとことん向き合った 大学生生活	課題発見力 計画力 論理的思考力	4
02	卒業生 学部・生物工学科卒業 応用分子生物学研究室	仕事で活かせる力が身につく 学生生活	コミュニケーション力 問題解決力 課題発見力	5
03	応用化学コース・M2 生命無機反応化学研究室	友人と好奇心に支えられながら の奮闘	主体性 計画力 問題解決力	6
04	修了生 博士・生命科学専攻修了 生体分子ネットワーク研究室	好きなことに打ち込んだ 充実の研究生生活	課題発見力 論理的思考力 問題解決力	7
05	生命情報学コース・M2 組織機能解析学研究室	課題と向き合い、挑戦を重ねた 私の学生生活	計画力 自己表現力	8
06	卒業生 学部・生物工学科卒業 生体分子化学研究室	考えて行動する環境下で 主体性が身につきました	計画力 コミュニケーション力 主体性	9
07	修了生 修士・生命医科学コース修了 薬理学研究室	課外活動から研究室生活まで 充実した6年間	主体性 コミュニケーション力 問題解決力	10
08	生物工学科・B4 構造生命科学研究室	学部生が自分の時間を 最大化する方法	計画力 集中力 体力	11
09	修了生 修士・生物学コース修了 酵素工学研究室	学生時代の様々な経験が 社会で活きる	コミュニケーション力 問題解決力 論理的思考力	12
10	応用化学コース・M2 高分子材料化学研究室	新しいことに挑戦し続けた 研究生生活	主体性 論理的思考力 コミュニケーション力	13
11	生命科学専攻・D2 生体分子ネットワーク研究室	研究に夢中になった学生生活	コミュニケーション力 自己表現力 課題発見力	14
12	修了生 博士・生命科学専攻修了 生体分子化学研究室	興味あることに挑戦し続けた 学生生活	主体性 コミュニケーション力 問題解決力	15
13	修了生 博士・生命科学専攻修了 薬理学研究室	自身の興味を突き詰めるために 研究に励んだ日々	コミュニケーション力 論理的思考力 計画力	16
14	修了生 修士・応用化学コース修了 無機電気化学研究室	将来を見据えて漸進する日々	主体性 計画力 課題発見力	17
15	生物工学科コース・M2 構造生命科学研究室	充実した研究活動を通じた 挑戦と成長	計画力 論理的思考力 集中力	18
16	修了生 博士・生命科学専攻修了 有機材料化学研究室	墮落の大学生活から 大幅に成長できた大学院生活	問題解決力 論理的思考力 課題発見力	19

各制度のご紹介

20

INSTRUCTION MANUAL

学科カラーに色分け

ページの端は学科毎に色分けしているので、どの学科の出身か、一目でわかります。

■応用化学科 ■生物工学科
■生命情報学科 ■生命医科学科

先輩の基本情報

2024年度B4
生命医科学科 プロテオミクス研究室
橋本 真優 さん
内定先企業の種類：化粧品メーカー
課外活動：ボランティアサークル

先輩の学生生活におけるモチベーションの推移を紹介しています。モチベーションが低下していた時期を特定し、その原因を分析することで、今後の改善策を考えたり、モチベーションが上がったポイントを見つけ、成功体験を将来に活かします。是非参考にしてみてください。

正課授業・研究室生活

先輩の目線で、正課授業や研究室生活の学びの魅力を語ってもらいました。

正課授業・研究室生活

3年生から4年生にかけて、授業と就活の両立が大変でした。就活は明確なゴールがないため、私の場合は就活の予定を詰め過ぎず、日常生活に支障が出るまでになってしまいました。これをきっかけに、無理し過ぎず、ストレス発散方法を理解しておくことに加え、一度立ち止まって、自身の行動を振り返ることが重要だと感じました。また、スプレッドシートやカレンダーを活用して課題やESの締切日をしっかりと把握することで、計画性を持って授業と就活を両立させることができました。

研究室で身についた力 課題発見力 計画力 論理的思考力

取り組んだ活動とその成果

先輩が成長したと実感した経験を紹介しています。どのような苦勞をどう乗り越えたか、読んでみてください。

力を入れて取り組んだ課外活動(アルバイト含む)は？
所属するボランティアサークルの活動に力を入れて取り組みました。私は、豚肉に食事を提供する調理員という役割も担いながら、琵琶湖清掃や阿蘇海環境保全など様々な活動に参加してきました。大規模な活動では、調理員わずか1人で100人分の食事を作る必要があり、2ヶ月以上前から発注や工程表の作成など様々な準備を行いました。活動中に急なトラブルが起きた際は、他の役員と話し合いを行い、メニューを変更することで切り抜けることができました。この経験を通じて物事を計画的に実行しつつ柔軟に対処する力を身につけました。

キャリアの選択に影響を与えた経験やきっかけは？
生命科学部のキャリア講演会で、院進された先輩が「研究が本当に好きでないと、院進するのはしんどい」とおっしゃっていたことがきっかけで、学部卒で文系就職することを意識し始めました。自身が学生実験で、実験に対して苦手意識を感じていたため、2回生の2月に就職活動を始め、自身の好きなこと、得意なことを考えた際に学部卒で文系就職をしても、自身のやりたいことの実現可能性が高く、理系就職にこだわる必要はないと考えました。せっかく理系に進学したのに、文系就職してしまうのは勿体無いと考えたこともありましたが、大学3年生で選んだ計画性や論理的思考力は、理系だからこそ身につけられた力だと自負しています。周囲の意見に左右されることもありましたが、自分にとって本当に正しい選択は何かを自身に問い続けることが重要だと感じました。

研究室で身についた成果につながったと感じたエピソードは？
ゼミでの論文紹介や研究報告に加えて普段の実験でも、自分では考え付かなかった切り口からの質問やアドバイスを頂戴いただくことができました。そのため、より効率的な実験方法や論文の調査方法を習得できている実感があります。これは課題発見力や論理的思考力を身につけていることにつながっていると考えています。

学生生活の軌跡 (モチベーショングラフ)

先輩の学生生活におけるモチベーションの推移を紹介しています。モチベーションが低下していた時期を特定し、その原因を分析することで、今後の改善策を考えたり、モチベーションが上がったポイントを見つけ、成功体験を将来に活かします。是非参考にしてみてください。

〈グラフ内ポイント〉

😊 High
😞 Low

自分とことん向き合った大学生活

01



2024年度B4
生命医科学科 プロテオミクス研究室
橋本 真優 さん
内定先企業の業種：化粧品メーカー
課外活動：ボランティアサークル

正課授業・研究室生活

3回生から4回生にかけて、授業と就活の両立が大変でした。就活は明確なゴールがないため、私の場合は就活の予定を詰め過ぎてしまい、日常生活に支障が出るまでになってしまいました。これをきっかけに、無理し過ぎず、ストレス発散方法を理解しておくことに加え、一度立ち止まって、自身の行動を振り返ることが重要だと感じました。
また、スプレッドシートやカレンダーを活用して課題やESの時切日をしっかりと把握することで、計画性を持って授業と就活を両立させることができました。

研究室で身についた力 課題発見力 計画力 論理的思考力

取り組んだ活動とその成果

力を入れて取り組んだ課外活動(アルバイト含む)は？

所属するボランティアサークルの活動に力を入れて取り組みました。私は、隊員に食事を提供する調理役員という役職も担いながら、琵琶湖清掃や阿蘇海環境保全など様々な活動に参加してきました。大規模な活動では、調理役員わずか5人で100人分の食事を作る必要があり、2ヶ月以上前から発注や工程表の作成など綿密な準備を行いました。活動時に急なトラブルが生じた際は、他の役員と話し合いを行い、メニューを変更することで切り抜けることができました。
この経験を通して物事を計画的に遂行しつつ柔軟に対処する力を身につけました。

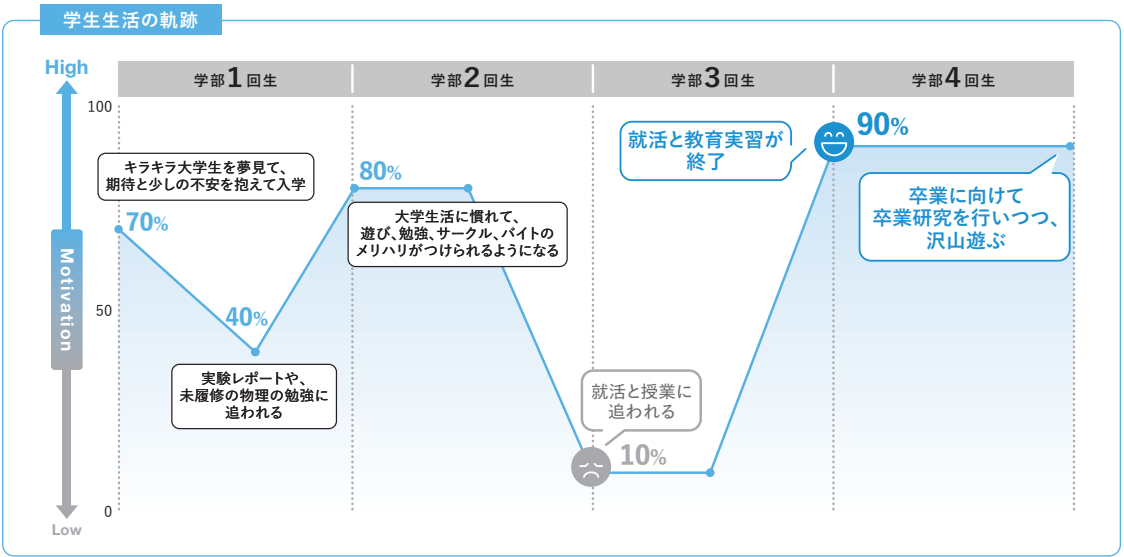
キャリアの選択に影響を与えた経験やきっかけは？

生命科学部のキャリア講演会で、院進された先輩が「研究が本当に好きでないと、院進するのはしんどい」とおっしゃっていたことがきっかけで、学部卒で文系就職することを意識し始めました。
自身が学生実験で、実験に対して苦手意識を感じていたため、2回生の2

月に就職活動を始めて自身の好きなこと、得意なことを考えた際に学部卒で文系就職をしても、自身のやりたいことの実現可能性が高く、理系就職にこだわる必要はないと考えました。
せっかく理系に進学したのに、文系就職してしまうのは勿体無いと考えたこともありましたが、大学4年間で養った計画性や論理的思考力は、理系だからこそ身につけられた力だと自負しています。
周囲の意見に左右されることもありましたが、自分にとって本当に正しい選択は何かを自身に問い続けることが重要だと思いました。

研究室で身についた・成長につながったと感じたエピソードは？

ゼミでの論文紹介や研究報告に加えて普段の実験でも、自分では考え付かなかった切り口からの質問やアドバイスを沢山いただくことができました。そのため、より効率的な実験方法や論文の調査方法を習得できている実感があります。これは課題発見力や論理的思考力を身につけていることにつながっていると考えています。



仕事で活かせる力が身につく学生生活

02



卒業生
2022年3月 学部・生物工学科卒業
応用分子微生物学研究室
寺部 千夏 さん
お勤め先企業の業種と職種：CRO 臨床開発職
課外活動：生命科学部オリター団

正課授業・研究室生活

研究室生活3回生～4回生にかけて、就職活動と研究生生活の両立が大変でした。その他にも、アルバイトや正課授業とのスケジュール調整も必要でした。内定を早く得たいという思いと、きちんと研究成果も出したいという思いからプレッシャーを感じていました。
平日は研究生生活を中心に、休日・研究の空き時間は就職活動を中心に、スケジュールを組み立てました。1週間単位の短期的なプランと、数か月単位の長期的なプランを組み立て、達成しているか振り返り、随時プランを修正しました。結果的に計画通りのスケジュールで、就職活動と研究生生活を進めることができました。

研究室で身についた力 コミュニケーション力 問題解決力 課題発見力

取り組んだ活動とその成果

力を入れて取り組んだ課外活動(アルバイト含む)は？

生命科学部オリター団です。新入生に楽しい大学生活をスタートしてもらうためのオリエンテーション企画を、皆で1から作り上げるということも貴重な体験でした。約2か月という限られた時間の中で、企画・制作・練習・報告と毎日大忙しでした。4月に見られる新入生の笑顔を皆で思い浮かべながら、チームプレーで協力しあい乗り越えました。
学生時代に、大人数で1つのものを作り上げたという経験は、今でも大きな自信となっています。

キャリアの選択に影響を与えた経験やきっかけは？

治療薬が存在しない病で祖母を亡くした経験から、新薬の開発に携わりたいという強い希望がありました。就活時には、先輩方の就活体験記やOB・OG訪問から、多くの参考となる経験を伺うことができました。実際に今勤めている会社も、OB・OGから生の経験談を聞いたことがきっかけで、第一志望として入社しました。

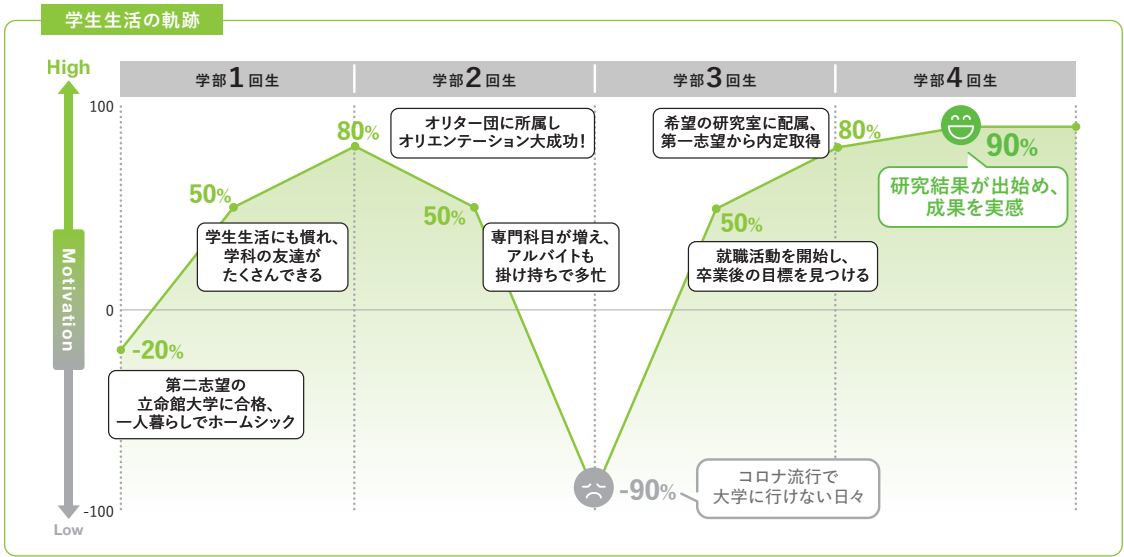
研究室で身についた・成長につながったと感じたエピソードは？

はじめに、1年間で達成すべき大きな研究目標を設定し、その目標達成に向けて、週単位の短期的目標と月単位の長期的目標を都度設定し研

究に取り組みました。微生物を扱う研究であったため、温度や栄養条件などの生育環境の変化によって、結果が変わってしまうことが多々あり、計画通りに進まない難しさも経験しました。なぜその結果になったのか、なぜ求めている結果が得られないのか、なぜを繰り返して自分の研究を見直すきっかけとなり、現状の課題を自分で解釈し見つける力が身につきました。
座学の正課授業では生物・化学についての専門的知識が身につきますが、加えて課題発見力・問題解決力が身につくことも研究生生活の貴重な経験です。

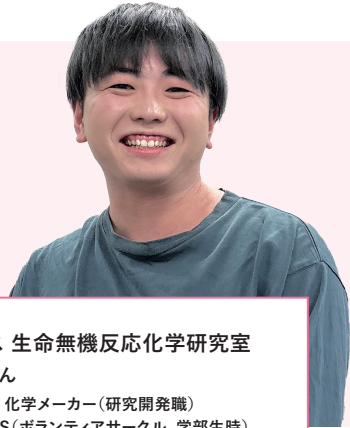
現在のお仕事内容を簡単にご紹介ください。

CRO(医薬品開発業務受託機関)業界でCRA(臨床開発モニター)として働いています。CROとは主に、製薬企業などから新薬の開発を受託して行う業界のことで、CRAとは臨床試験が計画通りに実施されているか監督・モニタリングする職種です。
新薬を皆さまへ届けるため、医師・薬剤師・看護師・製薬企業とともに、有効性や安全性のデータを集めています。



友人と好奇心に支えられながらの奮闘

03



2024年度M2
応用化学コース 生命無機反応化学研究室
坂本 大芽 さん
内定先企業の業種：化学メーカー（研究開発職）
課外活動：Rits BBS（ボランティアサークル、学部生時）、
課外自主活動団体助成制度の利用（1回生時のみ）

正課授業・研究室生活

研究室生活では自分で考えることを大切にしました。実験では予想通りの結果が得られる場合も、そうでない場合もありました。それぞれの結果に対して、原因を考え、実際に手を動かして検証することで理由を考察することができました。考えてもわからなかったことについては、友人や先生に相談することで視点を広げることができ、課題解決の選択肢を増やすことに繋がりました。
実験の都合上、深夜に測定することや時間のない中で結果を集める必要があったことは大変でした。しかし、結果を明らかにしたいという好奇心が勝っていたので乗り越えることができました。また、声をかけたら研究室に来てくれる同期の友人がいたことも大きな支えとなりました。学会発表に至るまでは、結果の整理や英語への翻訳に苦労しましたが、発表の場で他大学の先生や学生と自分の研究を深める議論ができたことは非常に有意義で良い経験になりました。

研究室で身についた力 主体性 計画力 問題解決力

取り組んだ活動とその成果

力を入れて取り組んだ課外活動（アルバイト含む）は？

大学の課外活動に対する助成制度（15万円の助成金支給）を利用して、小学生向けのイベントを開催しました。一人ではできることも限られてしまうので、団体を立ち上げるところから始めました。行動力と大胆さだけはあったので、衣笠キャンパスのサークルに突然伺って協力をお願いしたり、学科の先輩に声をかけたりしてメンバーになっていただきました。今思えばかなり生意気で迷惑なので準備を十分にした上でアポを取ってから動くべきだと思います。
団体活動では、地域のお店を訪問しての協力依頼や企画内容の作成などを学業と両立する必要がありましたが、全くうまくできませんでした。しかし、メンバーの尽力のおかげで本番を迎えることができました。開催できた時の達成感、参加してくれた子どもや保護者の笑顔は本当に嬉しかったです。また、計画的に進めることへの反省は今に活かしています。アルバイトとしては個別指導塾で講師をしていました。いかに思い通りにいかないかということで教えることの難しさを痛感しました。うまくできたかはわかりませんが、多くの生徒と関わりさまざまなことを学びました。

キャリアの選択に影響を与えた経験やきっかけは？

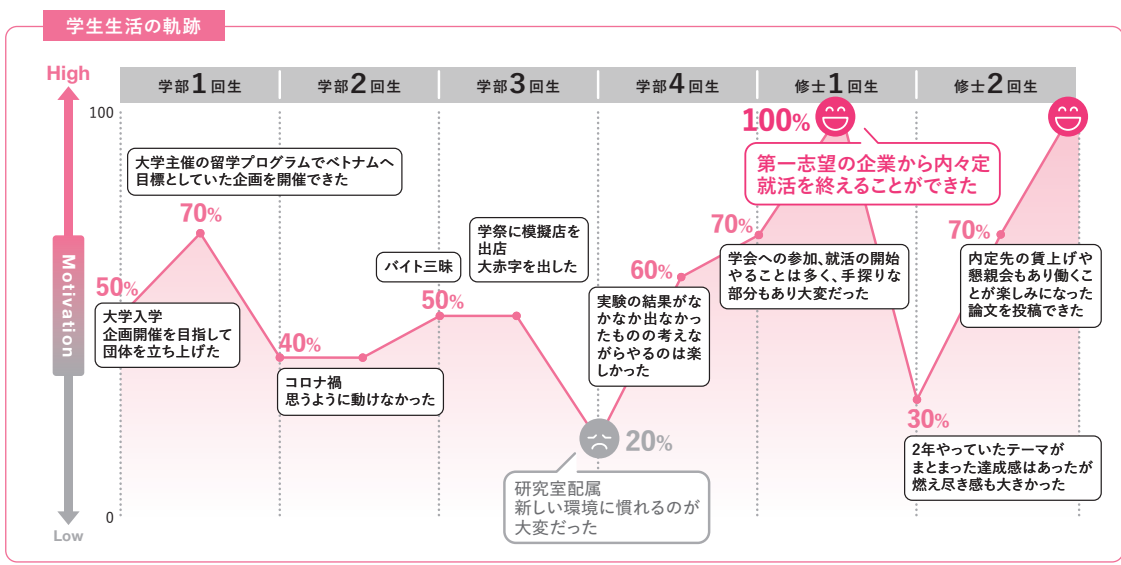
昔から理科が好きで研究をしたいという気持ちがあった中で、企業に研究職として入るためには大学院卒である方が良いということで大学院進学をしました。外部院進についても考えましたが、理由が研究への

意欲というより学歴だったため、同じテーマで研究が続けられる内部進学を選びました。就職活動の早期化もあったため、結果的に良かったと思っています。

ありきたりですが、就職活動では友人や先輩、キャリアセンターを頼りながらやるのが最も重要だと思います。友人とはエントリーシートの内容を指摘し合うことや面接練習をすること以外に、良いことも嫌だったことも共有できたのでモチベーションを維持しながら塞ぎ込まずに就職活動を行うことができました。

研究室で身についた・成長につながったと感じたエピソードは？

研究は実験の条件検討から始まったため、スムーズに進めるためには計画を立てることが必須でした。ただ、思った通りに進むことはなかなかなかったため、その度に計画を修正し、どうしたら解決できるかを考えて動きました。待つのではなく、自分で考えて主体的に動いたことで力がついたと思います。自分の実験について、考察するために必要な実験を自分で考え、先生に相談して認められたときは嬉しかったです。
楽なことばかりではありませんでしたが、好奇心を原動力に動き、実験をやりきったときはかなりの達成感を得られました。自分自身の性格として、物事をやっているうちにだんだんと好きになり、そして楽しくなり勝手に進めていくような性格なので院進学は向いていたと思っています。



好きなことに打ち込んだ充実の研究生生活

04



修了生
2018年9月 博士・生命科学専攻修了
生体分子ネットワーク研究室
大山 克明 さん
お勤め先企業の業種と職種：医療機器・研究開発職（約3年）、神戸大学大学院・学術研究員（約2年半）、立命館大学・専門研究員（現在に至る）

正課授業・研究室生活

研究室配属までは、正課授業でできるだけ単位を落とさないように気を付けていました。予習までは手が回りませんでした。よく図書館で復習はするようにして自分の中の知識として落とし込もうとしていました。すべての授業を無難にこなせばよかったのですが、学生の頃の私は計算やプログラミングへの苦手意識が強く、授業だけでは理解できない部分も多々ありました。そういった時は得意な友人に教えてもらうことで自分の理解できていない点を補完させていました。

研究室で身についた力 課題発見力 論理的思考力 問題解決力

取り組んだ活動とその成果

力を入れて取り組んだ課外活動（アルバイト含む）は？

化学・生物駆け込み寺の講師をさせてもらえる機会があり、様々な学年の学生が授業で困っている部分を一緒に考えて、解決することを意識していました。自分の出身学科だけでなく、いろいろな学科の学生が分野問わず聞きに来てくれるため、自身の知識の幅も広がったと感じています。

キャリアの選択に影響を与えた経験やきっかけは？

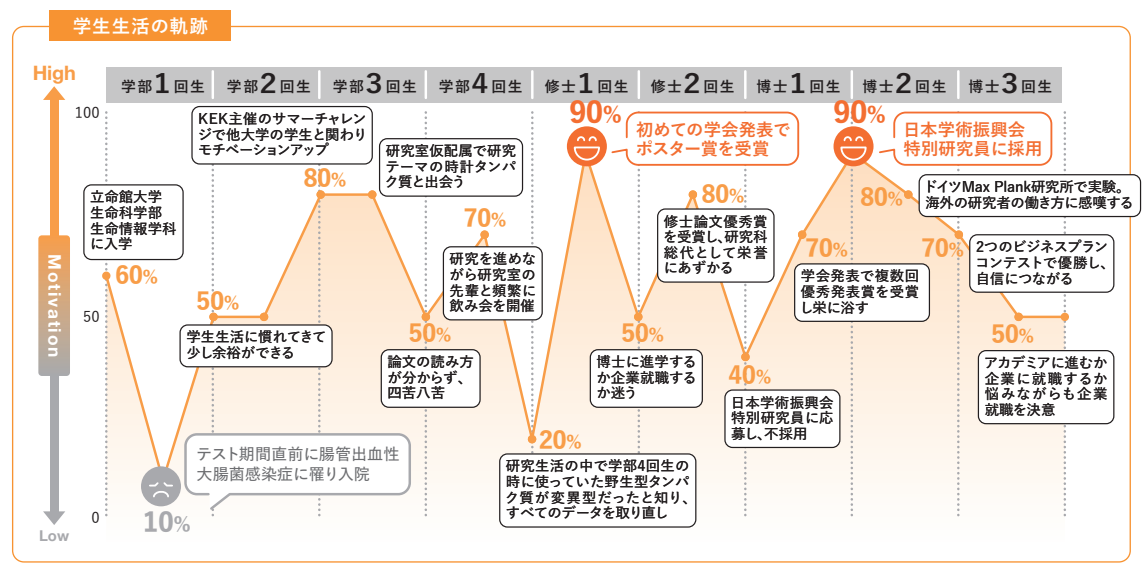
博士課程後期課程在籍時に参加していた立命館大学 博士人材リーダー養成プログラムでの経験がキャリア選択に大きく影響していると感じています。このプログラムを通して様々な企業の方々と密に話をする機会をもらえたことで、博士取得後に企業で働くイメージを持つことができました。プログラム参加後から研究成果を社会還元する具体的な方法を考えるようになり、アカデミアとして働く自分と企業で働く自分を想像することができるようになりました。

研究室で身についた・成長につながったと感じたエピソードは？

実験の中で想定していた結果と異なった結果が得られ、何故、想定と違った結果になったのだろうと考える中で、「論理的思考力」や「課題発見力」が培われたと感じています。研究を進める上での新しい課題が浮き彫りになるとその課題を解決する必要があるので、自然と問題解決力が醸成されたように思います。

現在のお仕事内容を簡単にご紹介ください。

私は体内時計がどのようにして時間を計測しているのか、その分子メカニズムを明らかにしたいと思い研究をしています。体内時計が時間を刻む分子メカニズムを明らかにできれば、新規の分子タイマー創造や他生物の体内時計の理解に繋がると期待しながら研究を進めています。



課題と向き合い、挑戦を重ねた私の学生生活

05



2024年度M2
生命情報学コース 組織機能解析学研究室
堀野 未祐 さん
内定先企業の業種：医療機器メーカー
課外活動：天文サークル

正課授業・研究室生活

研究において誰が見ても分かりやすいシミュレーションモデルを構築することを目標に取り組みました。シミュレーションモデルの各要素がどのような働きをしているのかが分かりにくいという課題がありました。一度構築することができましたが納得できずさらに自主的に約8ヶ月間構築を続けました。

その中で、1人で構築するよりも他の人に見てもらう方が目的のモデルに近づくと考え、プログラムを書き直したら教授に相談したり、研究室の違うグループの人や友達に見てもらいました。様々な人に見てもらうことで視野を広げることができ、分かりやすいものかというものを理解できるようになり、相手の目線に立て必要な情報をまとめることが重要であるということが分かりました。実際にそのモデルを学会で発表し、専門外の人に説明した際にフィードバックや質問をしてもらい、理解していただき、目的のモデルを作ることができました。

研究室で身についた力 計画力 自己表現力

取り組んだ活動とその成果

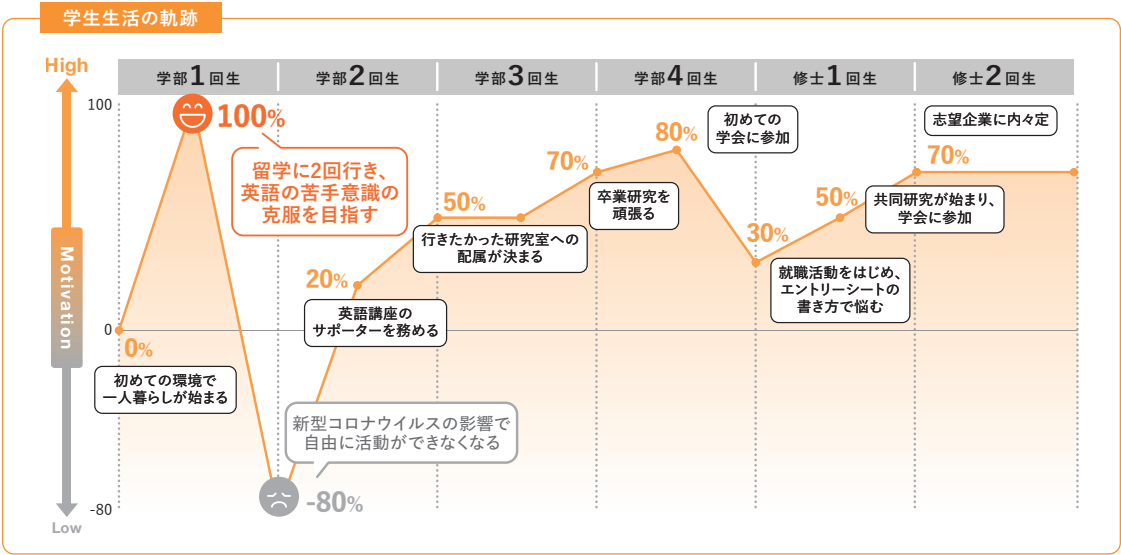
力を入れて取り組んだ課外活動(アルバイト含む)は？

アルバイトの塾講師で生徒に自分の解説が伝わらないこと、生徒の成績を上げることができていないことが自分の課題でした。そこで生徒の理解度を上げ、成績を上げるために2段階に分けてその課題を解決しました。まずは生徒との関係が大切だと考え、生徒の意見をしっかりと聞くこと、その意見を受け入れることを意識しました。そうすることで生徒の苦手分野を把握することができました。苦手な部分をより丁寧に解説したり、塾以外でも使える勉強方法などを取り入れた生徒に合った授業を行うことができるようになりました。

その結果、生徒が解けなかった問題が解けるようになり、問題が解けるようになることで勉強が楽しく感じてもらうことができました。

キャリアの選択に影響を与えた経験やきっかけは？

私は大学で生命科学やプログラミングを学び、プログラミングでは自分で試行錯誤した中からイメージ通りのものが完成して成果を上げることができ、それをうれしく思い、プログラミングに興味を見出しました。



考えて行動する環境下で主体性が身につきました

06



卒業生
2020年3月 学部・生物工学科卒業
生体分子化学研究室
伊吹 春香 さん
お勤め先企業の業種と職種：分析機関・技術系事務職
課外活動：アルバイト、UCDサイエンス&テクノロジー留学プログラム

正課授業・研究室生活

【卒業研究】研究テーマは「 $\alpha 1,2$ -マンノシダーゼ様タンパク質 EDEM3の機能解析」という生化学系のテーマで、細胞培養やタンパク質精製などを行っていました。初めのうちは、順序通りに実験を行うことに精一杯でしたが、工程実験に反応時間や培養時間を長く要することが多いなど感じていました。先輩や教授は実験操作のことは教えてくれますが、どのように効率的に行うかというのは自分で考える必要がありました。そこで、反応時間が長いタイミングにお昼休憩がとれるように実験を行ったり、結果報告会の日から逆算して培養を行ったりと、常に計画を立てながら、実験を行うことを意識して取り組むようになりました。

卒業研究を始めた半年間は思うような結果が得られず、苦戦していましたが、武田先生のご助言を参考に試験条件を変更したところ、仮説を証明する結果を得ることができました。私の研究はそこで卒業のタイミングとなってしまったのですが、卒業後に研究が論文となり、とても嬉しかったです。

研究室生活を通じて、計画して行動するという力が大きく養われたなど実感しています。社会人になった今でも強みとして活かすことができていると思います。

研究室で身についた力 計画力 コミュニケーション力 主体性

取り組んだ活動とその成果

力を入れて取り組んだ課外活動(アルバイト含む)は？

【アルバイト】飲食店のホールスタッフとして、4年間アルバイトをしていました。勤務した初日にお客様から、お手洗いはどこか聞かれたのですが、答えることができませんでした。そのときにお客様にサービスを提供することに自身の経験値は関係なく、新人スタッフであっても責任感を持たなければいけないと痛感しました。

経験を積み重ね、大学4年生の時には、満席時にお待ちのお客様に予想待ち時間をお伝えするウェイトリングというポジションを担当していました。ある日、お客様に不満感を与えてしまい、怒鳴られてしまったことがありました。社員さんや他のスタッフに相談し、自分だけで抱え込まず、サポートしてもらい、ご予約席のお時間までの時間制限の席をご用意することで解決することができました。アルバイトの経験を通じて、状況を判断して臨機応変に対応する力が大きく養われたなど実感しています。

キャリアの選択に影響を与えた経験やきっかけは？

【インターンシップ】就職活動を始めた際には、これまでで学んできたことを生かせる理系職に就きたいと思っていましたが、研究開発職のようなクリエイティブな力が必要となるお仕事に自信がありませんでした。そんな思いの中、3年生の前期(春学期)に食品メーカーのインターンシップに参加し、品質管理のお仕事に出会いました。製品の効能を裏付ける根拠が分かる成分表示や原材料表示を見ることが好きだったのと、自分の真面目な性格とも合っているのではないかと思います。品質管理の仕事を目指ようになりました。大学院進学も検討していましたが、品質管理のお仕事は学部卒の方も活躍されている方も多くと伺ったので、それなら学部卒のタイミングで挑戦してみようと思い、就職活動を本格的に始めました。

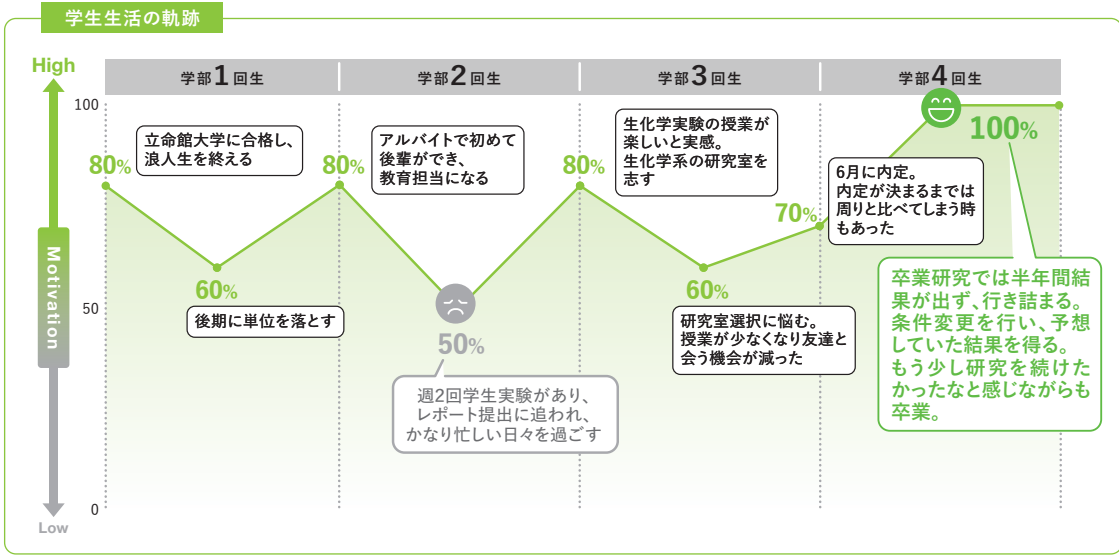
目な性格とも合っているのではないかと思います。品質管理の仕事を目指ようになりました。大学院進学も検討していましたが、品質管理のお仕事は学部卒の方も活躍されている方も多くと伺ったので、それなら学部卒のタイミングで挑戦してみようと思い、就職活動を本格的に始めました。

研究室で身についた・成長につながったと感じたエピソードは？

3年生までの正課授業とは異なり、自分自身で考えることが必要となることから主体性が身についたと思います。思うような結果が得られない時には、先生にただ相談するだけではなく、原因は何なのか考えることや論文を探し、どのような条件ならうまくいくのか調べるなど主体性を持って取り組むことが研究室生活では必要とされたなど思います。

現在のお仕事内容を簡単に紹介ください。

第三者分析機関として、公立・中正な立場で国内外の企業様や官公庁様からご依頼頂いた分析試験を受託しています。私は現在、受託サービス部業務課という部署でご依頼いただいた分析試験の受託やご依頼のご相談を担当しています。具体的には、試験条件や納期などをお客様と試験担当者の間に入って確認したり、お客様のご希望試験の受託可否のお問い合わせ対応を行っております。事務系のお仕事ではありますが、弊財団では多岐にわたる分析試験に対応しているため、幅広い知識と経験が必要になります。



課外活動から研究室生活まで充実した6年間



修了生
2021年3月 修士・生命医科学コース修了
薬理学研究室
清水 考朗 さん
お勤め先企業の業種と職種：医療機器(歯科材料)・研究開発職

正課授業・研究室生活

研究室に配属された4回生から大学院修了まで「潰瘍性大腸炎という腸の難病に効く生薬のメカニズム解明」というテーマに注力して取り組んできました。

【ぶつかった困難】研究をする上で、仮説を立てて実験をすることが必要になります。ですが、仮説を立てて何回も同じ実験をしても、仮説と反対の結果が得られた時期がありました。自分の仮説が間違っているのか、実験手法が間違っているのかが分からず、研究を進めることが出来ませんでした。

【どのように乗り越えたか】教授に相談すると、「実験手法は間違っていない。得られた結果を様々な角度から考察をしろ」と言われました。そこから、関連論文を読み漁りなぜこの結果になったのかを考察し、自分なりの新しい仮説を立てて研究を前進することが出来ました。

研究室で身についた力 主体性 コミュニケーション力 問題解決力

取り組んだ活動とその成果

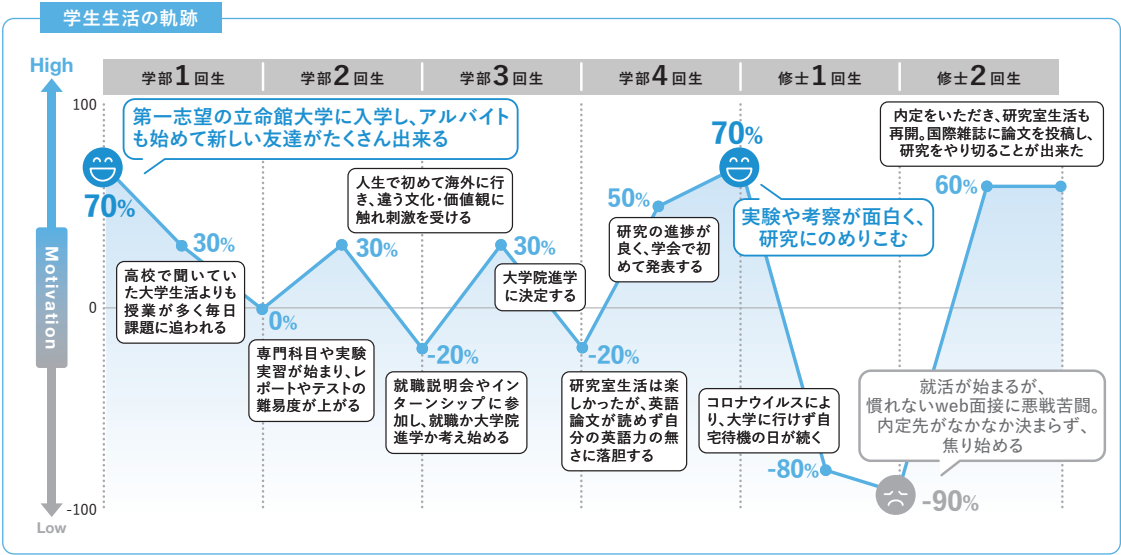
力を入れて取り組んだ課外活動(アルバイト含む)は？
大学1回生から6年間、居酒屋のキッチンでアルバイトをしていました。【ぶつかった困難】バイトリーダーをしていた頃、店舗リニューアルに伴って新人が急増した時期がありました。当時のアルバイト先にはマニュアルが無く、新人が間違ったレシピで調理をしてお客様からのクレームが多くなっていました。【どのように乗り越えたか】マニュアルがあれば解決するのかと考え、資料を作成しましたが上手く伝わりませんでした。そこで、バイトリーダーである私が全メニューの調理シーンを撮影し、それをLINEで共有することでアルバイト全員が同じ品質の料理を提供することができ、お客様からのクレームは減りました。

キャリアの選択に影響を与えた経験やきっかけは？
大学3回生までは学部卒で就職することを考えており、就職活動をしていました。ですが、就職活動のエントリーシートで必ず聞かれる質問「学生時代に力を入れて取り組んだことを教えてください。」という、いわゆるガクチカに胸を張って答えることが出来ませんでした。それまで勉強・サークル活動・アルバイトは頑張っていました、誰よりも頑張ったと言えませんでした。

そこで、配属された研究室でのテーマを誰よりも全力で頑張ってみよう！と決心し、大学院進学を選択しました。大学院での就職活動では、ガクチカに研究活動の事を書き、面接でも胸を張って答えることが出来ました。

研究室で身についた・成長につながったと感じたエピソードは？
研究テーマは各々ありましたが、基本的には5名程度のグループで活動をしていました。グループには、先輩・後輩・同期がいて、研究の課題を共有していました。その課題に対して、メンバーが論文を読んで解決策を提案したり、過去の知見を基にディスカッションを繰り返したりして課題を解決してきました。この経験が、主体性・問題解決力・コミュニケーション力の成長につながったと思います。

現在のお仕事内容を簡単に紹介ください。
現在は、歯科医院の治療現場で使用される材料の研究開発をしています。例えば、虫歯になった歯をドリルで削り取った後、その空洞に詰める光照射で硬化する材料を開発しています。他にも、矯正器具を装着するときの歯専用の接着剤や知覚過敏抑制剤も開発しています。



学部生が自分の時間を最大化する方法



2024年度B4
生物工学科 構造生命科学研究室
飛田 駿吾 さん
進路：修士課程進学
希望業種：製薬メーカー(研究職)
課外活動(アルバイト)：ソフトテニスコーチ、集団塾講師

正課授業・研究室生活

私は西園寺記念奨学金を獲得することを目標に正課授業に取り組みました。アルバイトの時間を学業に内包できるので、かなりの時間を回収できます。多くの人は常に良い成績を取り続けることに負担を感じると思います。私も1回生の秋から2回生の春にかけてライフバランスを崩してしまいました。対面授業の再開やモチベーションの低下により、自分のリズムで勉強する感覚を失っていました。このとき、原因を自分の中に探し始めてしまうとキリがありません。原因を1個ずつ潰していくことも大切ですが、時には割り切って新しいモチベーションを探すべきです。私の場合、応援している芸能人が大賞を受賞したことを刺激に、自分のサイクルを取り戻すことができました。少し変わった正課への取り組みですが、負けず嫌いの方やコンベティブな思考の方にオススメの大学生活です。

研究室で身についた力 計画力 集中力 体力

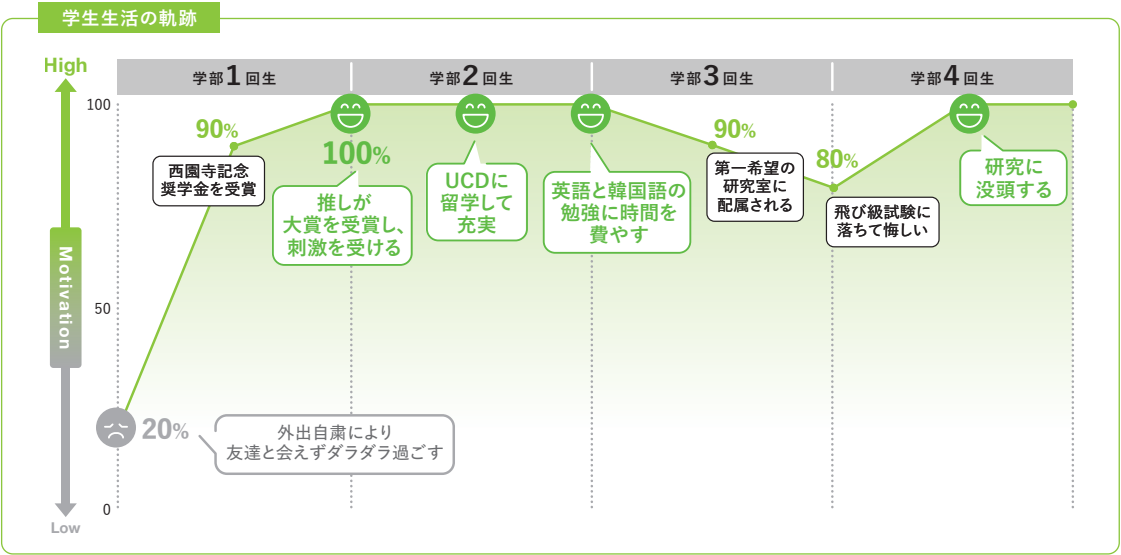
取り組んだ活動とその成果

力を入れて取り組んだ課外活動(アルバイト含む)は？
私は3年間ソフトテニスのコーチとして公立の中学校で部活動を指導しました。他に集団塾講師、日本語講師など指導するアルバイトばかり行っていました。これらの特徴は人と話す時間が多く、アルバイトをしている感覚が低いことだと考えています。アルバイトをすることで体力を消耗することを嫌った私によく合う選択だったと思います。もし、効率よくお金を稼いで自分の時間を捻出したい方がいれば、少し専門的なアルバイトを探してみるといいと思います。近頃は働き手が不足しているので、案外自分のスキルを活用できる仕事は多いと思います。また、アルバイトを選ぶときに時給や忙しさなど各々の基準で評価すると思います。私は西園寺記念奨学金を受給する前提で計画を立てていたため、アルバイトをなるべくしないことが最重要でした。つまり、とにかく高時給であることが条件ですので、一般的なアルバイトでは限界を感じました。そのため、アルバイト選びには少し苦労しましたが、自分の指導力を武器にして検索することでいい働き口を見つけることができました。皆さんも常識的なアルバイトの範囲外から検討してみると意外に合う仕事が見つかるかもしれません。私はこうして自分の時間を捻出すること

で推しについて動画投稿を行ってみる、絵画を描いて個展を開いてみる、ダンスを練習してみるなど多方面の活動を行うことができました。もちろん、勉学に時間を費やすこともできました。

キャリアの選択に影響を与えた経験やきっかけは？
学部生の間は座学が中心で、考えて研究する機会は少ないです。世界の誰も知らないことを見つけて論文として発表することがカッコいいと思ったので、大学院進学することに決めました。在学中に出せるだけ論文を出すことが目標です。

研究室で身についた・成長につながったと感じたエピソードは？
研究室では、時間を有効に活用するために複数の実験を並列して行うことが多いです。例えば、私は1日で11種類の大腸菌を培養したことがあります。大腸菌の増え方に差があり、正確な量まで増殖させるために集中して管理しました。他にも培養とタンパク質の精製を同時に進行することは多々あります。これらの経験を通して、時間管理しながら複数の業務を行う集中力や常に研究室中を動き続けることによる体力が鍛えられたと思います。



研究に夢中になった学生生活

11

2024年度D2
生命科学専攻
生体分子ネットワーク研究室
稲垣 知実 さん

正課授業・研究室生活

私が研究室配属されたのはコロナが流行した年で前期(春学期)はほとんど研究室に行けない状況でした。入学当初から研究が楽しかったので入構が許可されると毎日研究室に行き実験していました。毎日大学に行くことを5年弱続けていると「継続は力なり」、完ぺきではないですが、成果は少しずつ得られてきています。今でも実験が上手いかなときや進まないことはたくさんあります。研究室の同期や先輩・後輩とご飯を食べたりお喋りすることで気分転換し、冷静になることで見えていなかった失敗の原因が分かったりすることも多いように感じます。私は研究がしんどくて逃げたいと感じたら逃げてしまいましたが結局研究室に戻ってきてしまうのは、今の研究に魅力を感じている証拠だと思います。

研究室で身についた力 **コミュニケーション力** **自己表現力** **課題発見力**

取り組んだ活動とその成果

力を入れて取り組んだ課外活動(アルバイト含む)は?

学生生活は、「やってみたいことは絶対に実行」してきました。学部生の時は、長期休暇を利用して数週間キャンプしたり、海外ボランティアに行きたくなりアフリカまでいきました。また、食べることが好きでうどん屋やレストラン、学食でバイトをし、車も好きなのでレンタカーショップでバイトをしていました。好きなことややりたいことをしていて自由に見えますが、私一人の力で実行できているわけではなくたくさんの人との関わりで成立していると感じています。

大変な困難にぶち当たった経験はないのですが、人と関わるとその数だけ意見や気持ちがあるのでそれをまとめてり納得いくようにたくさん話し合ったりしたことを覚えています。今は研究に力を入れています、研究室内、学会発表等でもコミュニケーションがとても重要なのでこの経験がいかされているように思います。

キャリアの選択に影響を与えた経験やきっかけは?

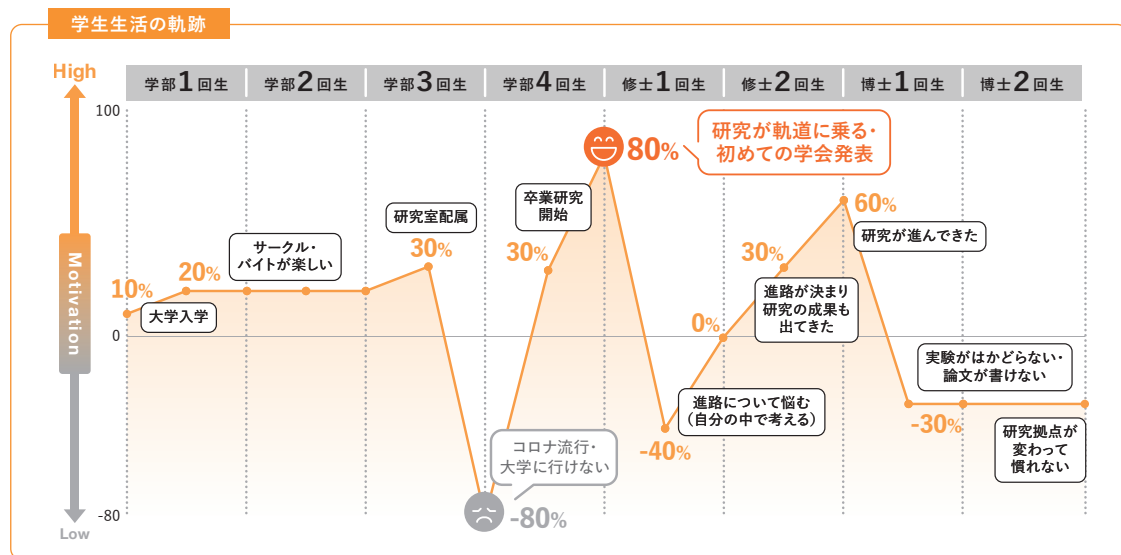
生命科学部では、半数以上が大学院進学するため、自身も進路の一つとして大学院へ進学することを漠然と考えていました。進路を決めるにあたり、就活も行いました。しかし、研究を進める中でその面白さの虜になり大学院進学を決めました。

博士課程前期課程(修士課程)へ進んだ後、卒業後は多くの人と同じように就職するものだと考え就活をしましたが、常に実験のことを考えるほど研究への想いを捨てられず、博士課程後期課程に進学する決断をしました。友人たちは就活している中この決断をしたことや、本当に私が博士号を目指すのか等不安だらけでした。私には、博士課程後期課程は大変でこの不安は消えていませんが、好きな研究を毎日することができてとても充実しているので進学を選択してよかったと思っています。

研究室で身についた・成長につながったと感じたエピソードは?

学会発表や、研究室のセミナーなどで多くの人の前で話す機会が増えコミュニケーション力と自己表現力が身につきました。研究室配属された当初は、発表やディスカッションが苦手で人前に立つだけで頭の中が真っ白になっていました。しかし、せっかく自分の研究を聞いてもらえる機会があっても相手に伝わらないと発表する意味がないのでどのように表現したら伝わるのかを考えるようになりました。今でも緊張はしますが、質問してもらえるようになり伝えたいことや言いたいことが理解してもらっているように感じています。

また、研究が進めば進むほど他の疑問が生まれるようになったので、課題発見能力も研究室で得られたのではないかと思います。



興味あることに挑戦し続けた学生生活

12

修士生

2024年3月 博士・生命科学専攻修士
生体分子化学研究室
上嶋 里菜 さん

お勤め先企業の業種と職種: 公的研究機関・研究職
課外活動: 弓道サークル

正課授業・研究室生活

研究活動に最も注力しました。思うように成果が得られず、苦しいことが多かったです。文献をもとに得られた結果を考察、仮説を立てて検証する、このサイクルを丁寧に繰り返すことで困難を乗り越えられました。

学部4回生から博士課程までの研究成果をまとめた論文がアクセプトされ博士号を取得できました。

研究室で身についた力 **主体性** **コミュニケーション力** **問題解決力**

取り組んだ活動とその成果

力を入れて取り組んだ課外活動(アルバイト含む)は?

大学入学前から興味を持っていた海外留学に積極的にチャレンジしました。学部生時は、生命科学部や理工学部が主催する、カリフォルニア大学デービス校やインド工科大学ハイデラバード校への留学プログラムに参加しました。

修士課程1回生ではGlobal-ready Graduate Program (GRGP) を利用してメルボルン大学にて有機化学の研究技術を磨きました。

キャリアの選択に影響を与えた経験やきっかけは?

学部生のころは企業の研究職に就きたいと思い修士課程へ進学することを決めました。

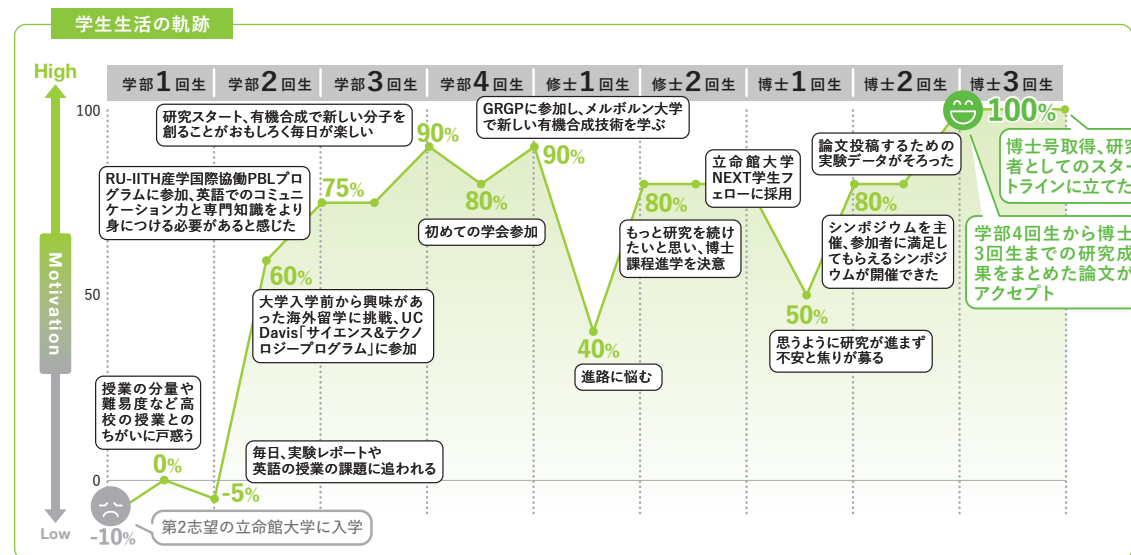
研究を進めるなかで、もっと研究技術を磨きたいと思い博士課程へ進学しました。

研究室で身についた・成長につながったと感じたエピソードは?

学会などの研究成果発表の機会を通して、自身の考えや意見を相手に的確に伝えるコミュニケーション力が身についたと感じています。このコミュニケーション力は、様々な分野の研究者が集まる現在の職場で、自身の研究内容や研究成果をディスカッションするときに役立っています。

現在のお仕事内容を簡単に紹介ください。

立命館大学・大学院で身につけた有機化学や生物学分野の研究技術を活用し、ヒト疾患の診断・治療技術の開発を目指して研究しています。例えば、副作用の少ないガンなどの治療薬を開発したいです。



自身の興味を突き詰めるために研究に励んだ日々

13



修了生
2023年9月 博士・生命科学専攻修了
薬理学研究室
山口 菜摘 さん
お勤め先企業の業種と職種：化粧品・研究職
課外活動：軽音楽サークル

正課授業・研究室生活

所属研究室にこれまでになかった研究テーマを提案し、確立しました。リハビリテーションによって脳梗塞後の機能障害が改善するという脳の可能性に興味があり、その詳細を明らかにするために実験系を一から立ち上げることを提案しました。他大学に通うことで必要な手技を獲得し、立命館大学でも再現できるよう、評価に必要な実験条件・環境などを最適化できるよう試行錯誤しました。

研究室で身についた力
コミュニケーション力 論理的思考力 計画力

取り組んだ活動とその成果

力を入れて取り組んだ課外活動(アルバイト含む)は？

軽音楽サークルに所属し、そのうち2年間で幹部として務めました。1年間に数回行う演奏会の運営に特に力を入れて取り組みました。正確な時間管理が必須のため、最も効率がよい1日の流れを分単位で調整し、その予定通りに実行する手立てを熟考しました。最初はうまくいかないことも多くありましたが、問題点を分析したり、先輩から助言をもらったことで解決策を見出すことができました。

キャリアの選択に影響を与えた経験やきっかけは？

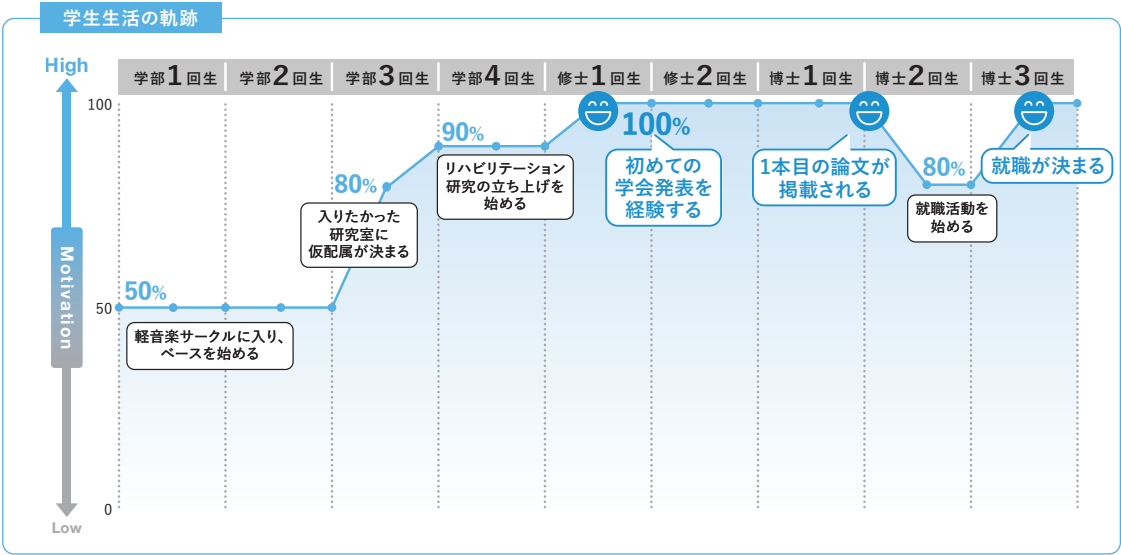
人々の暮らしをよりよくしたいという想いがあり、大学院では脳梗塞後の機能障害改善の研究に取り組んでいました。キャリア選択の際、自身の研究成果を商品として世の中に届けられることができる職業に就きたいと考えようになりました。その中で、メイクアップによって心を前向きに保つことができると実感した経験から、化粧品業界に興味を持ちました。安心できる品質と高い機能性をもつ原料の提供によって様々な化粧品づくりを支えていることに魅力を感じ、今の会社を選びました。

研究室で身についた・成長につながったと感じたエピソードは？

研究テーマの立ち上げ以降、後輩の学部生が研究室に配属されるたびに自身の研究の魅力をアピールし、興味を持ってもらえるように尽力しました。卒業の際には一番大きなチームにまで成長し、日々の研究生活ではコミュニケーションを大事にすることで意思疎通を図り、チームが円滑な研究生活を送れるように心がけていました。論文執筆の際には、論理的な話の組み立てや、必要な事実から逆算して実験計画を立てることが必要であったため、計画力や論理的思考力が身についたと感じています。

現在のお仕事内容を簡単にご紹介ください。

化粧品に配合される原料の研究開発



将来を見据えて漸進する日々

14



修了生
2023年3月 修士・応用化学コース修了
無機電気化学研究室
山岸 真梨也 さん
お勤め先企業の業種と職種：製造業・研究開発職
課外活動：ライフサイエンス研究会

正課授業・研究室生活

生物物理化学の授業に力を入れて取り組みました。講義内容が難しく苦戦していたのですが、友人たちとお互いにかかる箇所を教え合い協力ことで理解を深めたり、解決できない時は教授に質問して取り組むことで、乗り越えることができました。

研究室で身についた力
主体性 計画力 課題発見力

取り組んだ活動とその成果

力を入れて取り組んだ課外活動(アルバイト含む)は？

洋菓子店で販売のアルバイトをしていました。初日は接客方法やレジ対応などで指導を受けることばかりでしたが、先輩方の働く様子を観察し、接客やお客様によく質問される人気商品の勉強だけでなく、ソフトクリームの作成など作業内容を積極的に学びました。その結果、新しく入ってきた後輩への指導も任されるほどに成長できました。

キャリアの選択に影響を与えた経験やきっかけは？

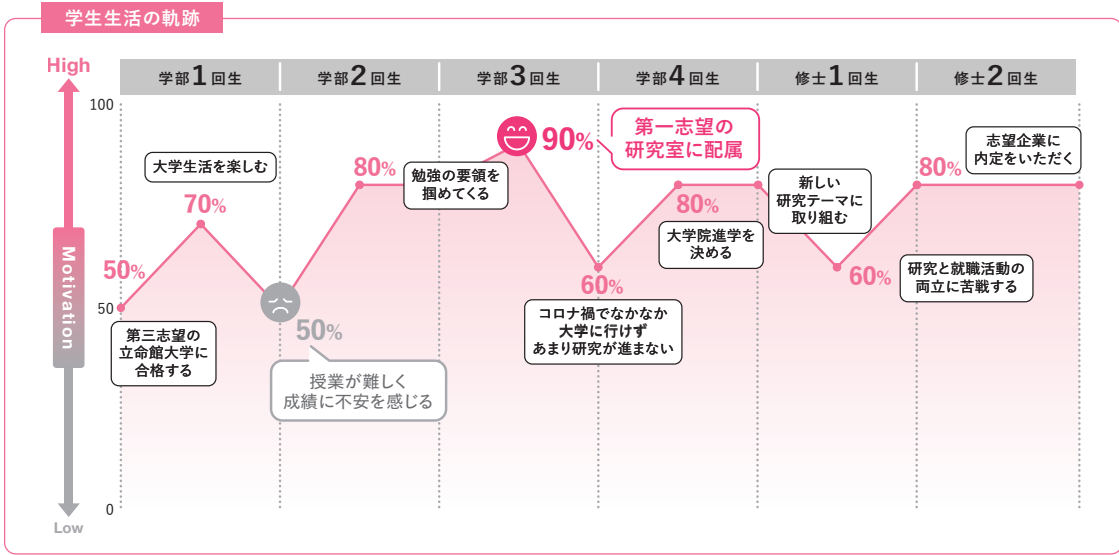
第一志望の企業を選択したきっかけは、その企業に就職された先輩が研究室向けに開催してくださった説明会に参加したことでした。私は当時自分なりに企業研究をして調べても、今ひとつその会社で働くイメージが持てず、第一志望がなかなか決まりませんでした。その時に説明会で身近な先輩の働いている内容や環境を具体的に知る機会を得たことは大きかったです。

研究室で身についた・成長につながったと感じたエピソードは？

私の取り組んでいた研究テーマの先行研究が少なく、材料の検討や分量等、試行錯誤する必要がありました。そのため、論文や過去のデータから情報収集を行い仮説を立てて取り組むことが必要でした。途中、材料合成に苦戦したこともありましたが、その度に合成条件の問題点を洗い出し、試行錯誤しながら何度も取り組みました。この経験を通して、主体性や計画力を培うことができました。

現在のお仕事内容を簡単にご紹介ください。

乾電池やEV用電池など、さまざまな電池の製造に携わる会社で働いています。その中で研究開発職として電池材料の開発に取り組んでいます。



充実した研究活動を通じた挑戦と成長

15



2024年度M2
生物工学コース 構造生命科学研究室
三島 夕佳 さん
内定先企業の業種：製薬企業の研究職
課外活動：料理サークル(コロナでほとんど活動できず)

正課授業・研究室生活

研究活動の中で困難だったことはタンパク質の結晶化実験です。800条件を超える結晶化条件の選定とせっかく作った結晶が何度も溶けるという2つの困難を乗り越えました。これらの課題に対して、実験環境を柔軟に変えるということを意識して取り組みました。具体的には、先生方や研究室のメンバーと積極的にコミュニケーションを取り、他者の意見を取り入れる事や周辺実験の結果からヒントを得ることで、結果、結晶化実験に成功し、大きな成果を得ました。他にも、様々な困難はありましたが、研究活動を通して自分の中で常識を懲り固めないようになりました。

研究室で身についた力 **計画力** 論理的思考力 集中力

取り組んだ活動とその成果

力を入れて取り組んだ課外活動(アルバイト含む)は？

5年半、塾講師として特に勉強が苦手な生徒の成績向上に注力してきました。勉強が苦手な子の多くは、問いかけへの反応が薄く授業に集中できない課題や、理解が曖昧な課題があり、なかなか成績向上に繋がらない困難がありました。そこで、まずは私自身に興味を持ってもらう必要があると考え、信頼関係の構築から行いました。また、授業内で頂いた問題を中心に自作プリントを作成し、生徒の生活スタイルに合わせて宿題を出すことで勉強習慣の促進と知識の定着をサポートしました。生徒一人一人に真摯に向き合うことで、ある生徒は3年かけて5教科平均点を20点から60点に向上させることができました。アルバイトの経験を通して課題に対して多角的にアプローチする力を身につける事ができました。

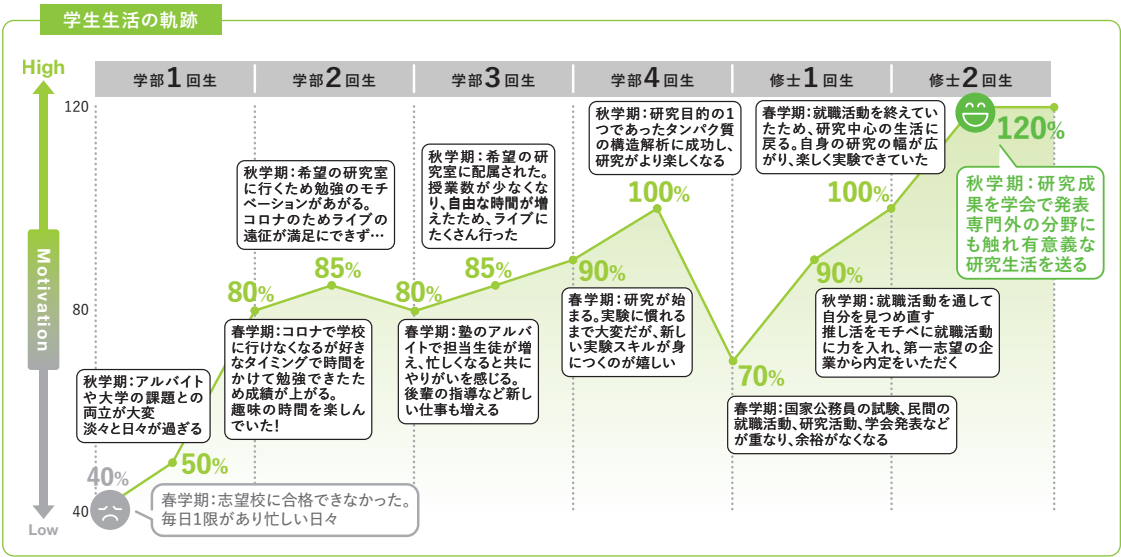
キャリアの選択に影響を与えた経験やきっかけは？

公務員と民間の両方を選択肢に入れたことで、企業選択の際に自身が本当にやりたいことを最終的に決める事ができたと思います。M1の段

階で試験を受けていたからこそ、民間の就職活動を始める前の早い段階で公務員が自分の思い描く将来像とは異なると感じることができたのはいいきっかけだったと思います。民間の就職活動では、興味のある製薬業界と化粧品業界を中心に受けていました。製薬業界では、現在の研究活動に近いという理由で基礎研究を中心にみていましたが、就活の軸や将来像を改めて考え直すことで、やりたい研究が見つかる事ができました。製薬と化粧品の選択は迷いましたが、内定後に企業訪問をし社風を体感する、キャリアセンターの方に業界ごとの違いを聞くなど様々な観点から将来を考え、最終的に意思決定することができました。

研究室で身についた・成長につながったと感じたエピソードは？

研究では、異なる実験を同時進行で連日行う事が多いです。月、週ごとの日にやる事とやるべきことを細分化してスケジュール管理をする癖が自然に身に付きます。また、研究室内の論文抄録、報告会の時間や学会発表を通して論理的に述べるという力も身に付きました。



墮落の大学生活から大幅に成長できた大学院生活

16



修士1
2024年3月 博士・生命科学専攻修了
有機材料化学研究室
吉田 悟 さん
お勤め先企業の業種と職種：総合化学メーカー(インフラ系)・工場の技術職
課外活動：アルバイト・宅配ピザチェーン店(キッチン・デリバリー)

正課授業・研究室生活

研究室では、個人の研究活動に加えて、研究室運営に力を入れておりました。正解もなければ終わりもないのが研究なので、どれだけ睡眠時間を削っても満たされないとこがとて大変でした。将来企業で活躍できる人材になるための試験だと思って、全力で研究活動に向き合ってきた結果、自然と業績が積みあがっていき、卒業時には研究室生活で大きく成長できている自分に気づくことができました。

研究室で身についた力 **問題解決力** 論理的思考力 課題発見力

取り組んだ活動とその成果

力を入れて取り組んだ課外活動(アルバイト含む)は？

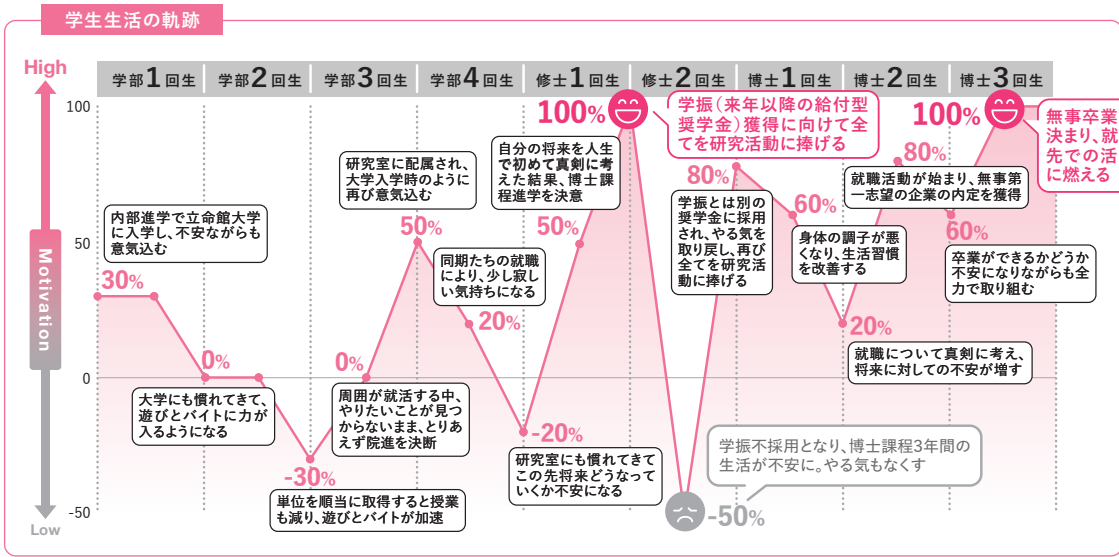
ピザの宅配チェーンでアルバイトをしていましたが、店舗に貢献するために必死になっていました。毎日肉体的にも精神的にもせせと働いていました。アルバイトにも全力に取り組んでいた結果、仕事をする上でとても重要である、効率やコストを考える癖が自然とついていったと思います。ピザの配達一つでもどの道を通っていくと安全に早くお届けできるかということを一日に何十回も考えるので、この「考える癖」は研究活動や現在の仕事にも役立っていると思います。

キャリアの選択に影響を与えた経験やきっかけは？

将来企業において自分が活躍できるか(必要とされるか)を基準に企業選択をしておりました。大学院(修士・博士)に進学した理由の一つが。周りの人にはない武器を身につけ、希少価値を高めたかったからです。自分のやりたいことをやることも素晴らしいことですが、私は、自分に与えてもらった(必要とされた)役割の中で、やりたいことを見つけ出して全力で取り組むということを大事にしていました。

研究室で身についた・成長につながったと感じたエピソードは？

研究は正解のない問いに対して、考え抜くことで、最も正しいであろう答えを導くということを繰り返し行っています。それによって培ってきた最も妥当な結論を出す力(論理的思考力・洞察力・広い視野)は、仕事上のあらゆる課題に向き合う上で重要であり、業界が全く異なる現在の仕事にも大変役立っています。
現在のお仕事内容を簡単に紹介ください。
工場の技術者(担当製品のレシピを開発する仕事)
製品の品質を落とさずに安く、早く、効率よく作る方法を考えて、実践する。



各制度のご紹介

立命館大学には、あなたの学生生活を充実することができる、さまざまな活動をバックアップする窓口や制度があります。是非ご活用ください。（問い合わせ窓口・QRコードは2025年3月時点の情報になります。）

分類	項目	概要	問合せ窓口・QRコード
1 学び・研究	ゼミ・専門研究 実験実習・ フィールドワーク 教養を磨く	生命科学部には、様々な科目やプログラムが展開されています。今だからこそ、学びのカタログ『学修要覧』や『シラバス』で、皆さんの学びの拡がり、可能性を見てみよう！特に、学部の特門・研究と科目の体系を知ること、日々の授業が楽しくなるはず。立命館の幅広い分野で展開される教養科目で、「ものの見方・考え方」の幅を広げよう。また、生命科学部での専門研究が社会でどのように関わるのかを体系できる調査実習・フィールドワーク科目・研修プログラムはお薦め！	manaba+R 各学部のページから『学修要覧』『シラバス』が閲覧できる！manaba+Rのお知らせ配信もチェック！
	学習ペースを コーディネートする	SSP(Student Success Program) は、学生「一人ひとり」が正課と課外すべての学生生活を通じて学びの主体として「自立」し、最大限の「成長」を遂げられるようになるための学生支援です。課題の進め方やレポートの書き方をはじめ、学生生活の充実に向けた様々な取り組みを実施しています。	SSP https://secure.ritsumeai.ac.jp/ssp/ 
	大学で学ぶための 基礎力を磨く (化学・生物駆け込み寺)	初年度に基礎科目をきちんと理解しておくことが、後の研究活動において非常に重要になります。授業の内容の中で、少しでも分からないところがあれば、時間を見つけて速やかに利用することが重要です。化学・生物駆け込み寺は、問題の解答を教えるところではありません。化学・生物学修を通して、将来本場に役立つスキルを身につけましょう。開講期平日授業日を中心に、オンラインで質問を受け付けます。分野は、有機化学、無機化学、物理化学、分析化学、生化学、生物科学の幅広い領域に対応しており、授業で分からなかったこと、勉強の仕方や課題への取り組みに関するアドバイスを受けられます。他に、数学学修相談会や物理駆け込み寺もあります。	化学・生物駆け込み寺 http://www.ritsumeai.ac.jp/ls/introduce/kakekomi/toppage/ 
	資格を取得する	学内には、資格取得や難関試験合格を目指す方に向けた各種講座をオンラインで開講しています(有料)。学内で受講することで格安に、かつ、通学・移動の時間をセーブして、集中できる環境にあります。資格という形で、自分の可能性を広げてみては？ また、低回生の国家公務員総合職を目指す1～2回生を対象とした「立命館霞塾」なども開講しています。Ex)技術系公務員講座・公認会計士講座・宅建物取引主任者試験講座・MOS・CAD利用技術者など	エクステンションセンター [衣笠] 研心館1階 [BKC] プリズムハウス2階 [OIC] A棟1階 https://www.ritsumeai.ac.jp/extension/ 
	大学院へ進学する	大学院への進学を考える方には、学内での入試説明会で情報収集してみよう。春学期および秋学期に、研究科合同入試説明会を実施しています。大学院の概要や特徴の説明、研究科ごとにより研究活動を知ることができる個別相談会も実施しています。特に、秋学期(11月頃)には、先輩院生との懇談会など、企画盛り沢山の「大学院WEEK」も開催。大学院入試が気になる方は、大学院入試サイトに過去問題も掲載されています。	大学院入試情報サイト http://www.ritsumeai.ac.jp/gr/ 
	クラブ・サークルで 活動する	プロや日本一を目指すクラブから、身近な様々な交流を通じて楽しむことを中心とするサークルまで、運動系のみならず、学芸・芸術など多種多様な活動団体があります。興味のあるクラブ・サークルが見つければ、見学などからはじめてみよう。※立命館大学のクラブ・サークルは学生の自主的組織「学友会」によって運営されています。	学生オフィス [衣笠] 研心館2階 [BKC] セントラルアーク1階 [OIC] A棟1階 http://www.ritsumeai.ac.jp/sports-culture/ 
2 課外自主活動 (クラブ・サークル)	学部プロジェクト団体に 参加する	学部の学びを生かした組織的かつ継続的なプロジェクト活動を行う団体もあります。Ex)経営学部:丹後むらおこし活動理工学部:飛行機研究会(→鳥人間コンテストに参加等)	奨学金・助成金制度 http://www.ritsumeai.ac.jp/scholarship/grow02.html/ 
	課外での成長を支援する 奨学金・助成金制度 (課外自主活動団体助成 制度など)	課外での成長を支援する奨学金助成金制度です。課外自主活動団体の支援と自主的な学びの支援(=正課以外の学びに自主的に取り組む個人・集団向け)があります。課外活動を通じた学生みなさんの成長への思いをアピールしよう！	
	学生同士で 学び合う・支えあう (ピア・サポーター)	学内には、学生同士が学び合い、互いに成長できるピア・サポート活動を行う学生団体があります。1回生から参加できる活動もありますよ！Ex)ティーチングアシスタント(TA)/ライブラリースタッフ/留学生チューター/入試広報学生スタッフなど	
	自主ゼミ	学部での学びを深めるため、仲間と自主的な学習集団活動に取り組もう！登録することで、印刷費・教室貸与等の支援を受けられます(申請は学部事務室で受付)。Ex)生命科学部:Ritree(緑化プロジェクト) / 理工学部:自然科学ゼミ	

分類	項目	概要	問合せ窓口・QRコード
3 海外留学 国際交流	全学部を対象とした 海外留学プログラム	国際教育センターでは、短期から長期に渡る様々な海外留学プログラムを数多く展開しており、皆さんの留学に必要な情報の提供、および留学相談にあたっています。現地へ訪問するという留学以外にも、オンライン留学プログラムなど、オンライン活用による異文化交流活動を実施しています。詳細を知りたい方は、まずは国際教育センターのHPをのぞいてみよう！	海外留学プログラムHP http://www.ritsumeai.ac.jp/studyabroad/ 
	学部独自の 海外留学プログラム	生命科学部では、「プロジェクト発信型英語プログラム」の一つとして、アメリカで最先端のサイエンスやテクノロジーの分野を英語で学ぶ「サイエンス&テクノロジープログラム」があります。生命科学に関する専門的知識を基礎として、コミュニケーション能力、プレゼンテーション能力、チームワーク力などの社会人基礎力と、それらを英語によって活用・運用できる力を備え、グローバルに活躍できる人材の養成を行います。	生命科学部HP https://ct.ritsumeai.ac.jp/ct/page_7642911c1728178 
	正課外の 海外研修・プログラム	授業外でも、学内には幾つかの海外研修・プログラムが展開されています。ご案内は、manaba+Rのお知らせ配信をチェックしてみよう。	海外留学プログラムの紹介HP https://www.ritsumeai.ac.jp/studyabroad/program/ 
	国際交流活動 異文化交流活動	Beyond Borders Plaza(BBP)は国境の壁、文化の壁、言葉の壁など様々なBordersを越えて繋がりを生み出し共に学ぶ、国際交流や言語学習を中心としたグローバルコミュニティです。外国語をもっと学修したい、国内学生・留学生と交流したい、仲間と一緒に外国語学習や国際交流に関するイベントを実施したいなど、気軽に利用できます。	BBP http://www.ritsumeai.ac.jp/bbp/ 
	留学生を支援しよう	国際教育センターでは、国際寮の寮生をサポートするレジデントメンター(RM)や正規留学生を支援するTISA、短期留学生を支援するSKPパティ、RSJPパティといった学生団体もあります。メンバー募集はmanaba+Rでの「留学」カテゴリにて配信されるので随時チェックしてみてください。	国際教育センター https://bit.ly/3oN0Q3D 
	語学講座を受講する	学内のCLA(言語習得センター)では、外国語能力を高めたい方の学習サポートするための多様な講座を提供しています。正課授業やサークル活動などと上手組み合わせながら講座を活用することもできます。	言語習得センター http://www.ritsumeai.ac.jp/gengo/cla/  孔子学院 http://www.ritsumeai.ac.jp/confucius/ 
4 サービslラーニング ボランティア インターンシップ	ボランティア・地域貢献 (サービslラーニングセンター)	災害復興支援、国内地域ボランティア、国際ボランティアなど、さまざまな社会活動に参加することができます。ボランティアに興味がある方は、学生コーディネータに相談してみよう。	サービslラーニングセンター http://www.ritsumeai.ac.jp/slc/ 
	インターンシップで 社会を知る (キャリアセンター)	社会で働く経験をしたい。専攻する学問を現実課題に照らしめてもっと深めたい。そんな方は、インターンシップを通じて、企業や自治体での就業体験をしてみよう。インターンシップ応募方法には、大学を経由して申し込むもの、学生が直接申込ものがあります。大学に到着した募集要項をHPでチェックしよう。その他、インターンシップに関する相談は、キャリアセンター個別相談を利用してください。	キャリア教育センター http://www.ritsumeai.ac.jp/cec/ キャリアセンター http://www.ritsumeai.ac.jp/career 
5 書籍に触れる	本を読む、 情報を調べる、 学びを深める (図書館)	300万冊を超える蔵書を誇る立命館の図書館。ネットで蔵書検索からまずはスタート!ちょっと気になるあの本を、図書館で借りてみよう。また、学習・研究をサポート資源を活用できる図書館ガイドansを実施しています。	図書館 http://www.ritsumeai.ac.jp/lib/ 
6 アルバイト	アルバイト	学生生活でもお金は大事!! 学校が設定した審査をクリアした、安心・安全なアルバイト情報のみを審査して掲載しているサイトがあります。アルバイトを通じて、学外の方とも交流してみよう。	学生アルバイト情報ネットワーク https://www.aines.net/ritsumeai 

立命館大学 生命科学部
 学生生活を充実させる先輩たちのストーリー 2025

発行日 2025年3月

[編集委員会]

委員長 花崎 知則
 編集事務 難波 しのぶ／辰野 有

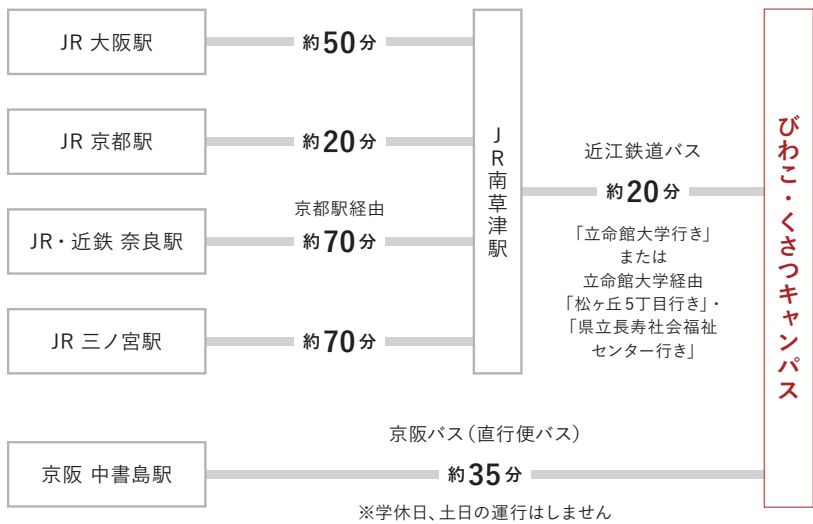
[生命科学部事務室]

事務長 平居 聡士
 事務長補佐 辰野 有
 専任職員 荒井 優／内藤 崇／難波 しのぶ／橋詰 琴美／村岡 清香

発行 立命館大学 生命科学部
 〒525-8577 滋賀県草津市野路東1丁目1-1
 電話 077-561-5021 FAX 077-561-2890

ホームページ 学部 <http://www.ritsumei.ac.jp/lis/>

ACCESS





+R 未来を生み出す人になる。

立命館大学